

国際協力事業団（JICA）

フィリピン共和国  
農地改革省（DAR）

フィリピン共和国  
イサベラ州農地改革地域開発計画調査

ファイナルレポート

平成13年1月

株式会社 三祐コンサルタンツ  
アイ・シー・ネット株式会社

## 序 文

日本国政府は、フィリピン共和国政府の要請に基づき、同国のイサベラ州農地改革地域開発計画にかかるマスタープラン調査及びフィージビリティ調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施いたしました。

当事業団は、平成11年9月から平成12年11月までの間、3回にわたり、株式会社三祐コンサルタンツの飯田将弘氏を団長とする調査団を現地に派遣しました。

調査団は、フィリピン共和国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成13年1月



国際協力事業団

総裁 斎藤 邦彦

## 伝 達 状

国際協力事業団  
総裁 斎藤 邦彦

今般、フィリピン共和国におけるイサベラ州農地改革地域開発計画調査が終了しましたので、ここに最終報告書を提出いたします。

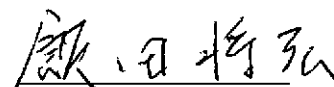
本報告書には、日本国政府関係省庁並びに国際協力事業団の上記計画策定に関する助言や提言、さらにフィリピン共和国でもたれたフィリピン共和国政府関係省庁との会議でのコメントを反映して、農地改革地域の農業開発に係る開発計画を取りまとめております。

本調査では、フェーズ 1 及びフェーズ 2 の 2 回にわたっての現地調査、さらにドラフトファイナルレポートの現地説明を実施しました。フェーズ 1 調査では、イサベラ州内の散在する農地改革地域の農業開発に係るマスタープランを策定すると共に優先地区の選定を行い、フェーズ 2 調査では、この優先地区についてフィリピン共和国政府関係省庁と協議を行い了承を得た後、フィージビリティ調査を実施しました。

調査・検討の結果、本調査業務は受益農民自身による農民組織の強化計画、農民受益者、地方行政担当者等の能力向上計画、農業生産性の向上を含む農業開発計画、農道や灌漑などの小規模農業基盤施設の改修・新設、収穫後処理施設の改修・新設、農家の家計改善を目的とする家計向上計画、これらの計画を支援する農村金融計画についての開発計画を提案しました。これらの計画の実施は、イサベラ州に位置する農地改革地域の社会・経済状況の改善と地域の持続的な発展に大きく寄与するものと確信するものであります。

最後に、本調査の実施に際し、積極的なご支援とご協力を賜った国際協力事業団、外務省、農林水産省、フィリピン共和国農地改革省を含めた関係省庁をはじめとして、随時適切な助言を頂いた作業監理委員会の各位に対して深甚の謝意を表します。

平成13年1月



調査団長  
飯田 将弘

# 調査対象地域位置図

Outline of ARC's of The Study





ARC No.	No. of Household	Total Population	No. of Brangay	ARC No.	No. of Household	Total Population	No. of Brangay
1	398	2,251	1	12	228	1,552	1
2	188	1,079	1	13	82	394	1
4	235	1,164	1	14	828	3,361	2
5	674	3,231	1	15	258	1,291	1
6	1,677	8,269	1	16	244	1,149	1
7 - 1	642	3,894	5	17	353	1,606	1
7 - 2	341	1,620	4	18	514	3,690	3
7 - 3	938	4,773	5	19	102	469	1
8	465	2,259	1	20	232	1,082	1
9	279	1,085	1	21	180	829	1
10	630	2,772	1	22	655	3,340	4
11	257	1,438	1				

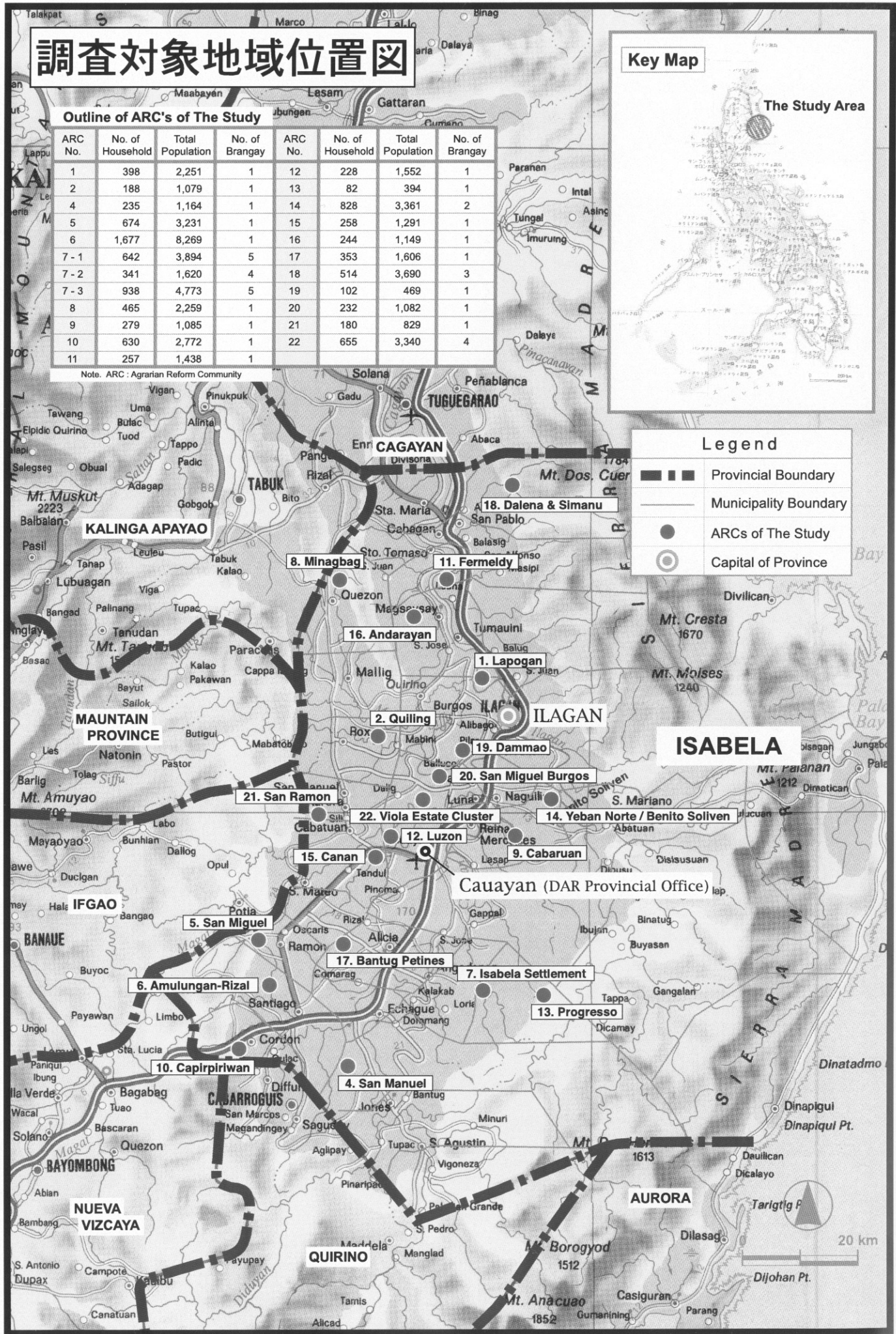
Note. ARC: Agrarian Reform Community

## Key Map

The Study Area

## Legend

-  Provincial Boundary
-  Municipality Boundary
-  ARC's of The Study
-  Capital of Province



20 km

Dijohan Pt.



Lapogan ARCでの公聴会風景。約300人の農民が参加した。カウンターパートがARC開発計画内容を現地語で説明した。



Minagbag多目的協同組合の再建者会議。多額の責務を抱え、返済不能になったMinagbag協同組合の再建方法を、調査団が指導して、再建者による再建方向を決定する会議。吸収合併か、または責務を返済して再建するかの選択を行わせた。



La Suerte ARCにおいて農民自身の負担限度額を調べる調査法の実施状況。調査項目は、農道、収穫後処理施設等に対する農民の負担意志を確認した。



ARC農民へのインタビュー。調査団員が農民代表者に農村・農業の現状を聞き取り。



ARC農村でのRRA実施風景。農民自身に現況作付け体系を描かせている。



FSDワークショップの実施風景。ARCの各界代表者を集めてのワークショップ。5日間連続して開催し、地区の問題点、解決法を農民参加型で討論した。農民は熱心に会議に参加し、モデレーターが会議の進行とりまとめを行った。